
「腎代替療法選択における意思決定と導入療法の乖離（Decision-Implementation Gap）の発生頻度および関連因子の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、病院倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2025年12月31日の期間に腎代替療法相談外来を受診された慢性腎臓病の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

慢性腎臓病が進行した患者さんにとって、透析療法（血液透析・腹膜透析）や腎移植、あるいは保存的腎臓療法といった治療法を選択することは、その後の生活に大きな影響を与える重要な決定です。当院では「腎代替療法選択外来」を設置し、患者さんがご自身の価値観に合った治療法を選べるよう支援しています。しかし実際には、一度決定した治療法が、病状の急激な変化や準備不足などにより、最終的に実現できないケース（例：腹膜透析を希望していたが、緊急で血液透析が必要になった場合など）が少なからず存在します。

本研究は、このような「希望した治療と実際の治療の不一致（Gap）」がどのくらいの頻度で発生しているのか、またどのような要因（特に腎機能の低下スピードなど）が関係しているのかを調査することを目的としています。この研究の成果は、今後、患者さんがより安全に、かつ希望通りの治療を受けられるような支援体制を作るために役立てられます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年5月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では、以下のカルテ情報等を用います。新たにお問い合わせする検査などは一切ありません。

基本情報：年齢、性別、身長、体重など

病気に関する情報：原因となった腎臓の病気、その他の持病など

検査データ：血液検査、尿検査

治療の選択と経過に関する情報：選択外来で希望された治療法、最終的に開始された治療法、腎臓内科の受診日、緊急透析の有無、入院期間や退院時の状況など

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

通常の診療において記録されたカルテの情報を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田浩一（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利浩司

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利浩司

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1611（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：腎代替療法選択における意思決定と導入療法の乖離（Decision-Implementation Gap）の発生頻度および関連因子の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田浩一